

Bcpos Graphical Handbook

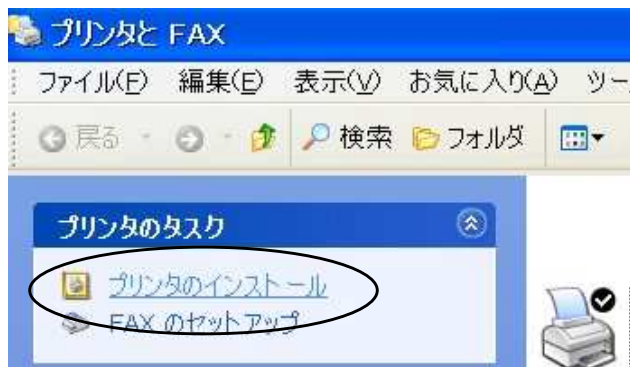
バーコードプリンタの設定手順

WindowsXp 用





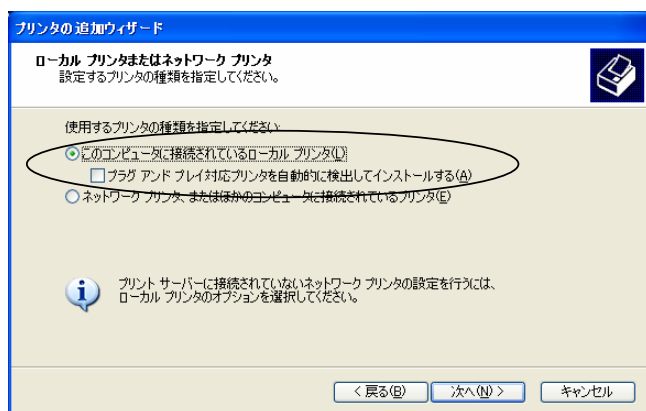
ドライバのインストール



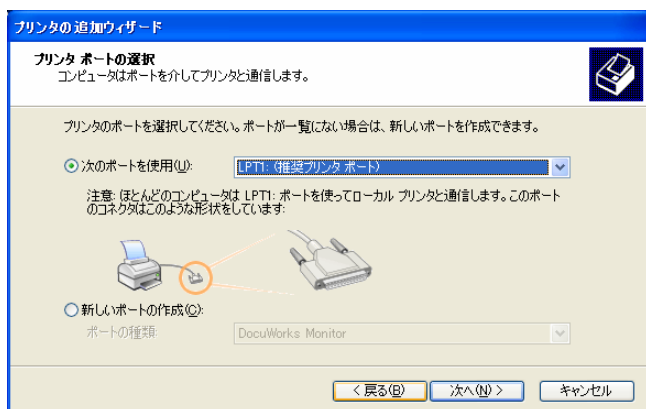
① 「スタートメニュー」より「コントロールパネル」を開き、「プリンタと FAX」の画面を表示させます。画面左側にある「**プリンタのインストール**」（もしくは画面内のプリンタの追加）をクリックしてプリンタの追加ウィザードを開いて下さい。



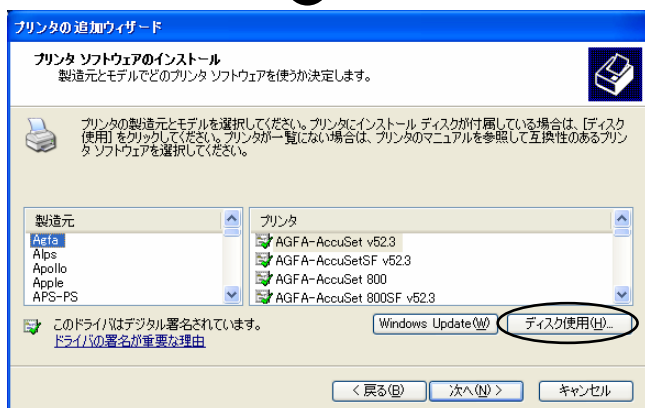
② プリンタの追加ウィザード画面が開きます。「**次へ**」をクリックして下さい。



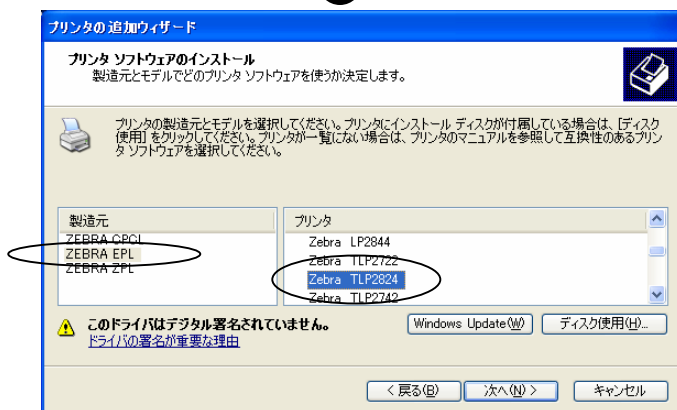
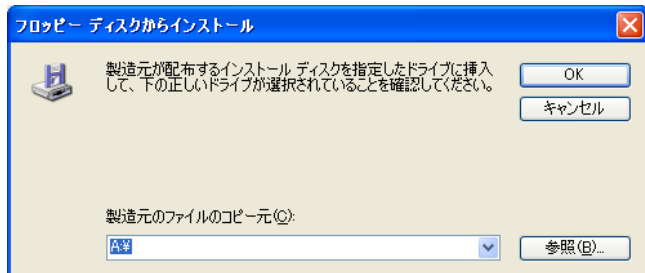
③ 使用するプリンタの種類を選択します。「**ローカルプリンタ**」にチェックを入れて、その下にある「プラグアンドプレイ対応～」のチェックをはずして下さい。そのまま「**次へ**」をクリックして下さい。



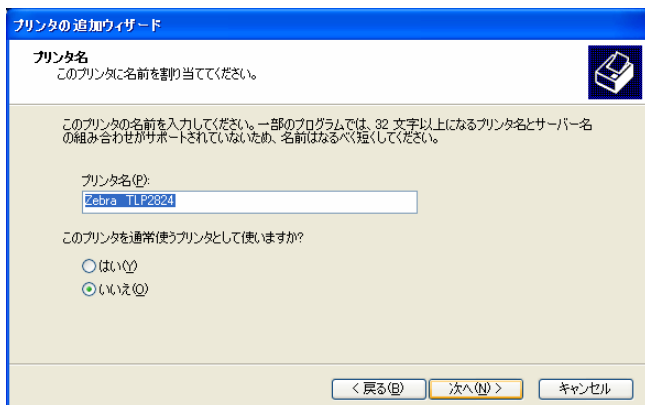
④プリンタのポートを選択します。
通常のプリンタポートで使用する場合は「**次のポートを使用**」を選択し、「**LPT1**」を選択して「**次へ**」をクリックして下さい。



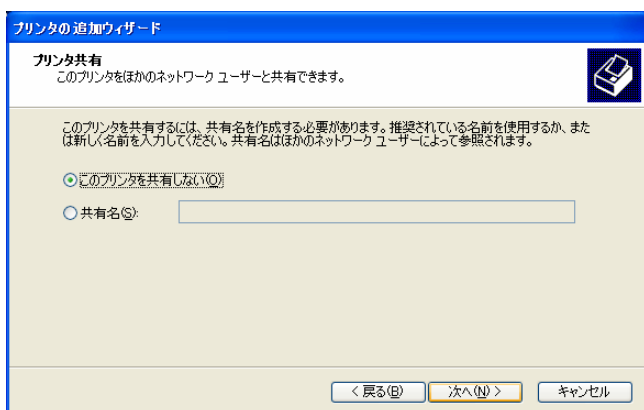
⑤プリンタの製造元とモデルを選択します。
付属のCD-ROMをパソコンに挿入して、「ディスク使用」をクリックします。画面右下の「参照」をクリックしてCD-ROM→「ゼブラユニバーサルドライバ」の順に選択し、その中の「USBPRINT.INF」を選択して「開く」をクリックしてから「OK」をクリックして下さい。



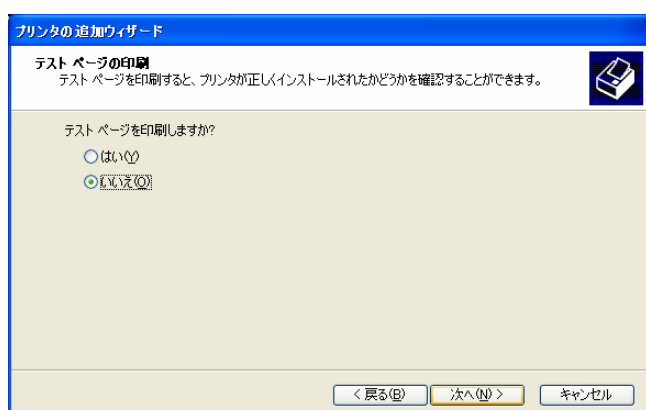
製造元の「ZEBRA ELP」をダブルクリックし、プリンタの「ZEBRA TLP2824」を選択して「次へ」をクリックして下さい。



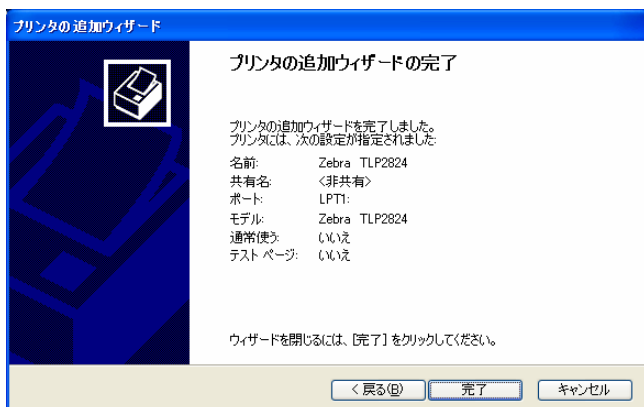
パソコン上でのプリンタの名前を指定します。通常は型番が入っていますのでそのまま使用して下さい。バーコードプリンタ以外にも複数のプリンタを使用する場合は通常使うプリンタに設定しないで「次へ」をクリックして下さい。



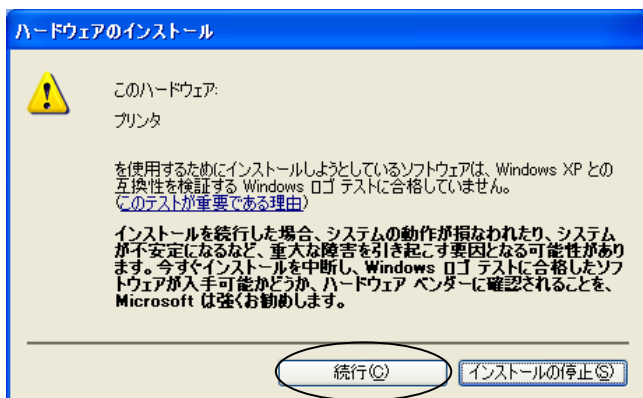
バーコードプリンタをネットワーク上で共有させて使用するかどうか設定します。ネットワークで使用しない場合は「このプリンタを共有しない」にチェックを入れて「次へ」をクリックして下さい。



テストページを印刷するかの設定です。ソフト上での設定をしてからテストをおこなうので「いいえ」をチェックして「次へ」をクリックして下さい。



以上で設定は完了です
設定内容を確認し「**完了**」をクリックして
ください。インストールが始まります。

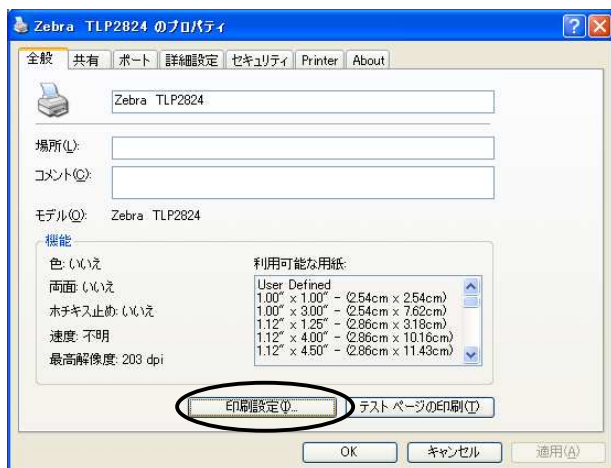


インストール中に以下の画面が表示され
ますが、かまわず「**はい**」をクリックする
とインストールはそのまま続きます。

インストールが終了すると、もう一度
「プリンタの追加ウィザードの完了」
画面が表示されますので、同様に「**完了**」
をクリックして下さい。



用紙の設定とドライバの設定



TLP2824のドライバを右クリックしてプロパティを選びますと、まず以下の画面が開きます。この「全般」タブの下左にある「印刷設定」ボタンを押してドライバの設定画面に入ります。

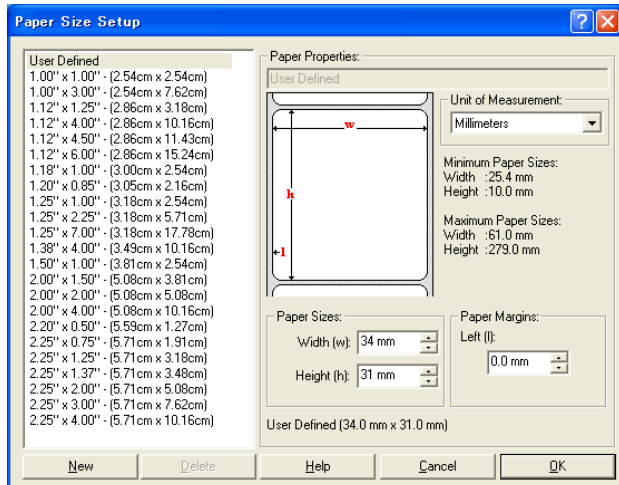


「Paper/Output」の右側にある「+」記号をクリックしてください。



「Paper Size」(用紙サイズ)をクリックします。ここは非常に重要です。ここで使用しているラベルサイズを設定しないと、ラベル飛ばしや印字ずれが生じる可能性があります。

「User Defined」(ユーザ定義)を選択した後、右の「Customize」(カスタマイズ)ボタンを押してください。



「Customize」ボタンを押すと下の「Paper Size Setup」(用紙サイズ設定)の画面が開きます。ここで真ん中下の「Paper Sizes」のところで「Width」(幅)と「Hieght」(高さ)を入力します。この画面では単位が「mm」になっていますが、デフォルトは「cm」になっているかもしれません。mmとcmの変更は右上の

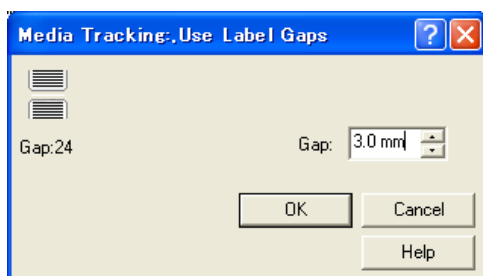
「Unit of Measurement」(測定単位)で設定します。どちらでも好きなほうを選択してください。ラベルサイズは

幅34mm (3.40cm)
高さ31mm (3.10cm)

ですので、その通り正確に入力します。下右の「Paper Margin」-「Left」(左マージン)は0にしておきます。入力したら「OK」をクリックします。



「Media Settings」の右側にある「+」記号をクリックしてください。「Media Tracking」をクリックし、「Use Label Gaps」になっていることを確認し、右の「Option」（オプション）ボタンをクリックします。右の「Gap」（ギャップ）のところにラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）の距離を正確に入力します。ラベル間ギャップは3mmですので、3mmと入力します。（用紙サイズで単位をcmにした場合は、この単位もcmになるので0.3と入力してください。）

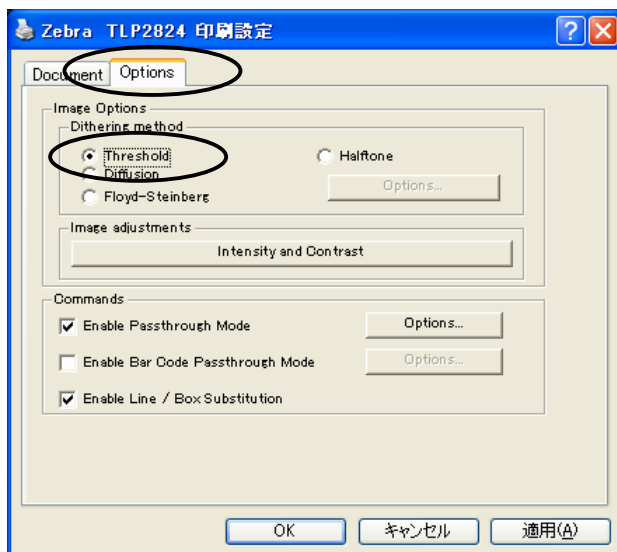


「Device Option」の右側にある「+」記号をクリックしてください。このメニューには「Speed Settings」（印字速度）と「Head Settings」（印字濃度）の2つがあります。この2つは印字の濃さや品質に応じて任意に設定します。通常、印字スピードは2インチ/秒（2.0 IPS）印字濃度は10位にしておき、印字の乗り具合によっては多少変更します。



印字濃度はバー上のつまみをスライドさせて設定します。デフォルトはスピード「4.0IPS」、濃度「7」に設定されています。

⑧設定が終了したら「適用」をクリックしてください。

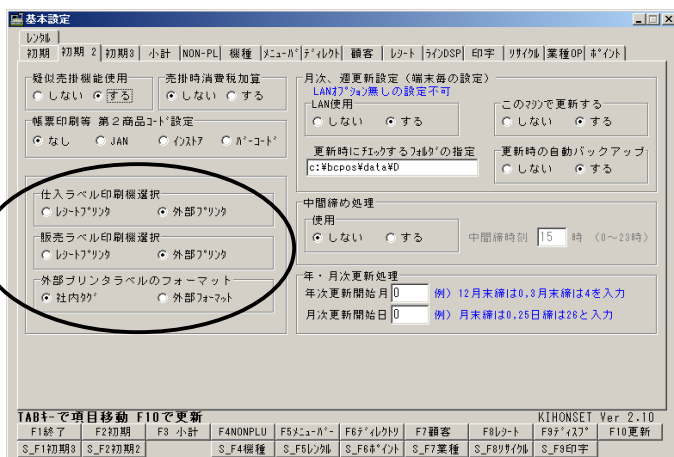


⑨「Options」タブに切り替え、「Threshold」にチェックを入れ「適用」「OK」「OK」の順にクリックし画面を閉じてください。

ここで変更したところ意外は絶対変更しないでください。正しく印字できなくなる可能性があります。



BCPOS での設定



①BCPOS でのバーコード

印刷設定を行います。

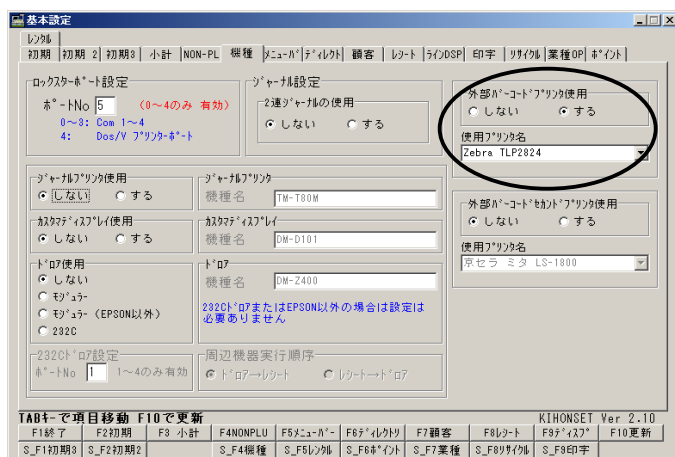
「開始メニュー」より「F6基本設定」
→「F2全般設定→「初期2」の順に
開きます。

画面左下にあるラベルの設定場所を
以下のように設定します。

- ・ 仕入ラベル印刷機選択・・・外部プリンタ
- ・ 販売ラベル印刷機選択・・・外部プリンタ
- ・ 外部プリンタラベルのフォーマット・・・社内タグ

変更したら画面右下の「F10 更新」を押して、出てくる画面で「OK」を押します。

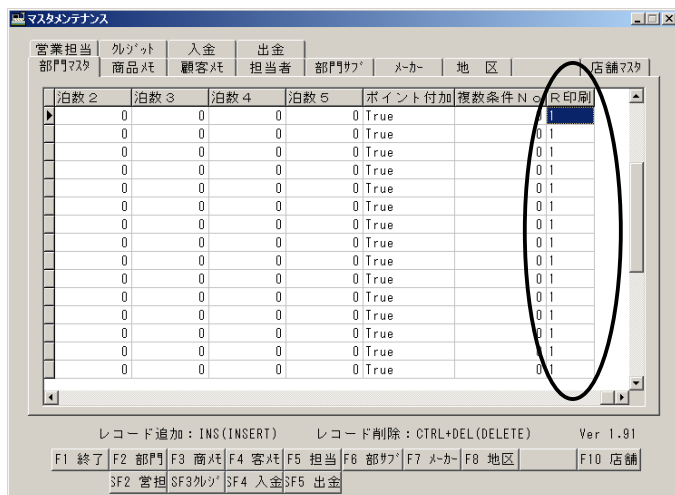
基本設定を変更する場合は、必ずページごとにこの作業を行います。



次に「機種」の画面を開きます。画面右上にある「外部バーコードプリンタ使用」を「する」に設定します。「使用プリンタ名」が選べるようになるので「Zebra TLP2824」を選択してください。セカンドプリンタ使用は使用しない設定にしてください。同じパソコンで他のプリンタドライバをインストールした場合、使用プリンタ名がインストールしたプリンタドライバに変更されてしまうことがあります。バーコードプリンタ以外のプリンタドライバをインストールした場合には、必ず基本設定をもう一度確認してください。

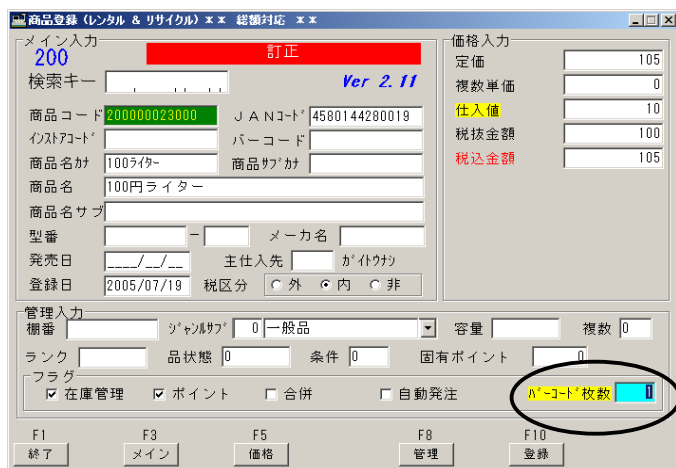


BCPOS での設定



⑤開始メニューより「F3各種マスタ」をクリックしてください。

⑥画面の一番右側まで行くと「R印刷」という項目がありますので、作成した部門は必ず「R印刷」部分に「1」という数字を入れて下さい。

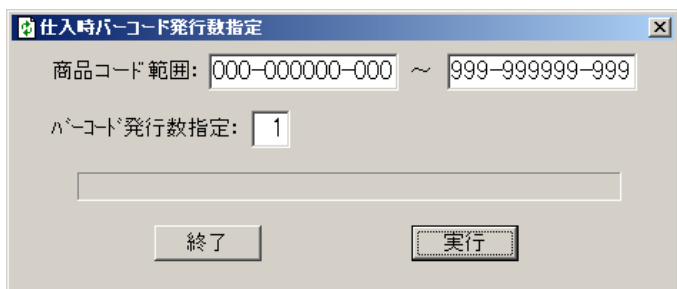


⑦次にバーコードを出力したい商品を登録します。レジ画面の F3 商マスタ、もしくは開始メニューより F2 管理画面にある商品マスタを実行してください。商品登録画面の右下に「バーコード枚数」という項目がありますので、ここに必ず 1 以上の数字を入力します。0 を入力（もしくはそのまま Enter キーで進む）するとバーコードがうまく印刷されない場合もあります。



BCPOS での設定

すでに商品をいくつか登録してしまっていた場合・・・



いちいち商品呼び出して「バーコード枚数」項目に 0 以外を入力するのは面倒です。そんな場合はすべての商品（範囲も絞れます）の「バーコード枚数」項目に指定した数字を入力するプログラムを使用して下さい。マイコンピュータより「C ドライブ」「BCPOS」の順に開き、BCPOS フォルダの中にある「**BarChg.exe**」というプログラムをダブルクリックします。

「商品コード範囲」で範囲を指定して（全部の場合はデフォルトのまま）、「バーコード発行枚数指定」部分に入力したい数字を入れてください。設定が終了したらそのまま「実行」をクリックします。処理が終了したら「OK」を押してください。

シールの位置調整



電源を切った状態でフロントのフィードボタン（丸いボタン）を押しながら電源を入れます。電源を入れてフィードボタンが赤く光ったら手を離してください。シールが10枚ほど出てから英語が印字されます。止ったらフィードボタンを1回押してください。また、英語のシールが1枚印字されます。これで位置調整は終了です。